

## 1. 令和5年度を通して重点的に取り組む事業

### (1) 質の高い乳幼児教育・保育事業の充実（STEM教育の実践）

#### ア. 外部環境

幼稚園と保育所の機能を併せ持ち地域の子育て支援も行う幼保連携型認定こども園として2年経過し、さらに質の高い乳幼児教育・保育の向上、また地域に根差した施設としての役割が求められています。

#### イ. 重点的な取組

- (ア) 幼保連携型認定こども園の役割を理解し、子どもの最善の利益を考慮し、地域に開かれた園として幼児教育・保育事業を実践していきます。
- (イ) 子どもたちの生きる力（自発性、想像力、判断力、問題解決力）の基礎を養うため、その土台となる「思考力や想像力、表現力を」を身につけるため、0～5歳児の発達段階に応じた日々の保育・教育において自由に創意工夫できる環境を整え、STEM（科学・技術・工学・数学）教育を実践していきます。

### (2) 発達障害、情緒障害のある児童に対する支援体制の強化

#### ア. 外部環境

発達障害の特性を持つ子どもの増加により、一人ひとりに応じた細やかな支援が必要であるが、園内だけでは保護者を含めた対応が難しいことが多く専門家・専門機関との連携が必要です。

#### イ. 重点的な取組

- (ア) 谷山病院や愛と結の街と連携し、それぞれの専門家と共に園児の観察・相談を行い、その都度カンファレンスを行うことによって職員の発達障害児への対応の知識や実践について学びを進めていきます。
- (イ) 多様な子どもたちの育ちに配慮し、一人ひとりに応じたきめ細やかな細かい子育て支援ができるように、臨床心理士・ケアマネジャーと保護者との発達相談事業や地域の専門機関、療育事業所等と積極的に連携を図り、子どもを支援する体制の構築に取り組みます。

### (3) 職員の働きやすい環境づくりの推進

#### ア. 外部環境

ICT化システムの導入により、保育業務の書類作成時間が短縮されることで仕事の効率の向上につながり、職員同士の対話の時間や休憩時間を積極的に取るできるようになりましたが、もっとゆとりをもった働き方ができるように改善の余地があります。

#### イ. 重点的な取組

- (ア) 勤務体制を見直し、お昼時間だけでなく午前や午後に分散しての休憩時間を取ることができないか検討していきます。（子どもの人数や状況にも大きく変わります）
- (イ) 短時間非常勤職員で休憩時間や夕方の時間をカバーし、ゆとりを持った保育ができるように保育教諭や子育て支援員の確保を目指します。

## 2. 本年度実施の事業内容及び年間計画

### (1) 事業内容

事業名称	事業内容
乳児保育事業	清潔で安全な環境で生後2ヶ月からの乳児の保育を行う。(授乳、おむつ交換、沐浴、離乳食など)
延長保育促進事業	安心・安全な環境を整え、通常保育後、乳幼児が楽しく過ごせるように保育を行う。
地域交流事業 世代間交流事業	こども園行事への参加や施設訪問等を行い、地域の高齢者や小・中学生との交流を図る。
育児支援事業 (個人面談・育児相談)	園児の保護者に発達ソフトをもとにした個人面談を行うとともに、地域の子育て家庭を対象に園庭開放や育児相談を行う。
幼児保育相談事業	専門家による気になる子どもの観察及び保護者への指導・カウンセリングを行う。
児童発達支援事業	気になる子ども・発達障害の子どもの観察・支援を行いながら、保健所・療育施設・小学校等地域施設と連携をとり、就学支援につなげていく。
障害児保育事業	障害児や気になる子が生活しやすい環境づくりをし、一人一人の発達に添った保育を行う。
一時預かり保育事業	1号の認定を受けた子どもが、保護者の就労や都合によって、認定時間以外の教育・保育を行う。

### (2) 年間計画

月	行 事	職員研修会・会議等
4	進級式・始業式	藤森先生講演会・保育を磨く会(研修)
5	こどもの日・健康診断 交通安全教室・保護者懇談会	マネジメント研修(キャリアアップ)
6	歯科検診 運動会	マネジメント研修(キャリアアップ) 子育て支援研修(キャリアアップ) 二園合同研修
7	七夕まつり・プールあそび	保健衛生・安全対策研修会(キャリアアップ) 保育環境セミナーⅠ 幼児教育研修(キャリアアップ)
8	異年齢児交流(4・5歳児、卒園児)	食育・アレルギー研修会(キャリアアップ) 保護者支援研修会(キャリアアップ) 障害児保育研修(キャリアアップ)
9	十五夜	障害児保育研修会(キャリアアップ) 保育環境セミナーⅡ
10	親子遠足・ハロウィン大会	乳児保育研修(キャリアアップ) 二園合同研修
11	いもほり・健康診断・発表会	保育環境セミナーⅢ 食育アレルギー研修(キャリア) 障害児研修(キャリアアップ)
12	もちつき・クリスマス会	園長・主任研修 GTリーダー研修
1	七草	保育総合研修会・全体研修会 二園合同研修
2	節分	実践論文研修 新任職員研修
3	ひなまつり・お別れ遠足・お別れ会 入園説明会・卒園式	

<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 誕生会、避難訓練は毎月実施</li> <li>◎ 3歳以上児～週1回体操教室</li> <li>◎ 3歳以上児～月1回英語あそび</li> <li>◎ 異年齢児交流事業、世代間交流事業は随時実施</li> <li>◎ 園庭解放、育児相談は随時実施</li> <li>◎ 鹿児島中央看護専門学校学生実習受け入れ</li> <li>◎ 養成校実習生受け入れ</li> <li>◎ 東谷山中学校体験学習受け入れ</li> <li>◎ 幼児保育相談（臨床心理士）</li> <li>◎ 毎月誕生児の保護者による一日保育士実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎月例会議</li> <li>園内研修（メンバー円対話・クラスミーティング）</li> <li>職員会議</li> <li>危機管理会議</li> <li>給食検討会</li> <li>リーダー会議</li> <li>ケース会議</li> <li>チーム会議</li> </ul>
--	---

### 3. 施設管理

#### (1) 設備・備品関係

##### ア. リフト電気廻りリニューアル工事（1,200,000円）

設置20年以上ということで、綱車・そらせ車等の状態が要注意である。点検業者より全体的なリニューアル工事をすすめられているため。

##### イ. 公用車（1,600,000円）

老朽化により、定期点検での備品交換や全面塗装の必要性、ホイールの破損も見られるため、新車の購入を希望いたします。

##### ウ. 園舎内水道の点検・修理

築25年目の園舎内の水道は全体的に老朽化が激しいため、一斉に点検し、故障修理や部品の交換等を進めていきます。

##### エ. 2歳児保育室・休憩室の空調設備の修理

比較的新しく令和元年の空調設備入れ替えの時に入れ替えをしなかった2歳児保育室と休憩室の空調設備の調子が悪くなることがあるので、修繕や部品の交換をしていきます。

##### オ. 園舎内外及び設備・備品等の点検

備品等についても点検を行い、老朽化したものは、随時修繕・入れ替え等を行います。

#### (2) 防災・防犯・安全管理

##### ア. 避難訓練・消火訓練

毎月1回（年2回は脇田分遣隊指導による避難訓練）

（年2回火事による第二避難所までの訓練と、年1回津波による第三避難所までの訓練）

##### イ. 不審者対策の訓練

年1回（市安心安全課による防犯教室）

##### ウ. 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

##### エ. 非常食糧の備蓄

（全児童数＋全職員数）×3食×（1日～3日）分

### 4. 地域社会との連携

- (1) 小原町内会に園だよりを配付し、園の情報を提供する。
- (2) 愛と結の街（老健施設）をクラス毎に訪問し、交流を深める。（コロナ禍においてはプレゼント交換やリモート交流など工夫していく）
- (3) 東谷山中学校の職場体験受け入れ
- (4) 東谷山中学校3年生家庭科授業で全クラス受け入れ
- (5) 地域の子育て家庭への支援（園庭開放・育児相談）
- (6) 子どもの発達について保健センターや児童総合相談センター、児童発達支援事業所との連携
- (7) 笹貫商店街買い物体験・地域清掃（年長児）

## 5. 相談、苦情解決

- (1) 保護者からの相談・苦情、要望等のご意見はしっかり受け止め、担当職員や園長で話し合いを行い、改善点については保護者に丁寧に説明を行っていきます。また、園全体の問題として捉える必要があるものは職員にも周知徹底し、真摯に対応していきます。
- (2) 保護者からの相談・苦情を広く受け付けるために、日々の連絡帳や苦情箱から苦情をひろいあげ、ホームページ上に公開し、すべての事案について第三者委員に報告していきます。

## 6. 中長期計画に関する対応

- (1) 園全体の保育の質の向上を図るため、体系的な研修体制を作ることにより職員研修の充実を図りながら、人事考課における一人ひとりのスキルアップも目指していく。
- (2) ・同法人の専門家による園児の観察・発達相談を行い、その都度カンファレンスを行うことにより職員の発達障害児への対応の知識や実践について学ぶことを引き続き行っていく。  
・臨床心理士と保護者の面談に同席することによりカウンセリング方法を学び保護者との面談・就学相談等に繋げていく。  
・保健センターや療育事業所等との連携を深め、気になる子を療育に繋げることにより子どもにとって安心できる場所での生活を保障する。
- (3) 世代間交流事業や地域における子育て支援事業の見直しを進め、地域・家庭との連携の強化と地域のネットワークづくりを推進していく。
- (4) こども園で提供できる保育事業の検討、見直しをし、新しい事業を取り入れるための準備を進めていく。
- (5) ・法人内の関係機関（きずな保育園）との相互訪問見学研修を実施し、カンファレンスを通してお互いの保育への理解を深め、相互の保育の質の向上を図る。

## 7. 施設運営

### (1) 児童の処遇

#### ア. クラス編成

(令和5年4月時点で園児入所確定数見込)

クラス名	年齢	園児数	保育士数(基準数)	備考
びっぴ	0歳	15	5(5)	
てくてく	1歳	20	4(4)	
わくわく	2歳	22	4(4)	
いきいき	3歳	26	2(2)	
のびのび	4歳	23	1(1)	
きらめき	5歳	18	1(1)	
フリー保育士			3	
合計		124	20(17)	

#### イ. 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
24	24	26	25	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	25	23	23	24	

#### ウ. 保育

##### (ア) 保育目標

『自分らしく意欲的で思いやりのある子ども』を育てる。

- 自ら課題を見つけ、自ら考え行動する子ども（主体的に行動する子ども）
- やりたいことをやれる子ども（意欲的な子ども）
- 自分を好きになれる子ども（自尊感情を持てる子ども）
- 人の喜びを喜べる子ども（思いやりのある子ども）

(イ) 保育方法

『見守る保育』

- a. 縦わりでない異年齢保育
- b. 子ども主体の保育
- c. ねらいに応じた選択性の保育
- d. かかわりを大切にした保育
- e. チーム保育（保育集団）

(ウ) 発達に応じた教育・保育目標

- a. 0歳児の年間目標  
一人一人の子どもが生理的欲求を満たし、愛着形成・信頼関係のもと、安心して過ごし、多様性を身につけていく。
- b. 1歳児の年間目標  
友だちや保育士との関わりや発達に応じた環境の中で過ごし、様々なことに興味・関心を持つ。
- c. 2歳児の年間目標  
基本的な生活習慣を身につけ、自我のめばえと共に簡単な身の回りのことを自分でしようしたり、自分でできる喜びを味わったりする。
- d. 3歳児の年間目標  
様々な経験を通じて興味・関心や意欲を持ち、自らやろうとする自主性を育みながら、異年齢児と共に過ごす楽しさを知る。
- e. 4歳児の年間目標  
物事を自分なりに考えて判断したり、自分の思いを言葉で伝えたり相手の気持ちを考えたりする力が身に付き、力を合わせることの大切さを知る。
- f. 5歳児の年間目標  
さまざまな体験から自信や、予想や見通しを立てる力が育つとともに仲間意識も強くなり、集団の中で生きる人間としての土台を育む。

エ. 健康管理

健康診断 年2回（5月、11月）

歯科検診 年1回（6月）

(2) 職員の処遇

ア. 職員体制（令和4年4月1日予定）

職種区分	人数	備考
園長	1名	
副園長	1名	
主幹保育教諭	2名	
保育教諭	25名	（うちパート7名）1名育休中
看護師	1名	
栄養士	2名	
調理員	2名	（うちパート1名）
事務員	1名	育休中
施設係	1名	（パート）
嘱託医	3名	（非常勤）
合計	39名	

**イ. 健康管理**

健康診断 年1回(5月) 細菌検査 毎月1回

**ウ. 職員会議**

(4の表の通り)

**エ. 研修計画**

(4の表の通り)

**(3) 採用計画**

7月～各養成校の求人案内を送付(県内5校)

8月～ハローワーク・保育士保育所支援センターに求人票送付  
施設見学・面接受付開始(随時)

10月～採用決定 来年度 正規保育教諭 ～1名

令和6年 2月～各養成校 就職フェア参加(1年生対象)

3月～鹿児島市保育園協会主催 就職フェア参加(1年生対象)